

アメリカの TOP エンジニアとこれからの「IT」を語り合おう 開催

平成26年5月26日、TJKプラザ(TJKプラザB1階)において、「アメリカのTOPエンジニアとこれからの「IT」を語り合おう」が開催された。出席者は計106名。ゲストスピーカーは、成本正史氏(マイクロソフトコーポレーション パターンズアンドプラクティス シニアマネージャー)。聞き手は、細川努氏(株式会社アーキテクタス代表取締役)。司会は本イベント主催の政策委員会の横塚委員長。

本イベントは、近い将来の IT ビジネスやソフトウェアアーキテクチャと開発スタイルの変化をアメリカ在住エンジニアであるゲストスピーカーに対談形式で語っていただくことにより、IT の最先端の動向を把握する機会として企画したものである。

成本氏は、「今後 IT の世界に起きること」「ソフトウェアアーキテクチャと開発スタイル」「日本の情報サービス産業が発展するためには」の順に講演を行った。

まず、「今後 IT の世界に起きること」を紹介する中で、成本氏は、スマートデバイスやオンラインビ



ジネスの爆発的増加を挙げ、ソフトウェアの重要性、クラウド化、ビッグデータ分析を例に、IT そのものが道具から分析ツールになることに伴い、これから必要とされるエンジニアについて言及した。

次に、「ソフトウェアアーキテクチャと開発スタイル」については、「設計の可視化」「復元性」の観点から、MTBF(平均故障間隔)よりも MTTR(平均修復時間)が前提となることを挙げ、「今後の開発スタイル」に言及した。また、アジャイル開発が日本であまり普及していない理由の例として、アメリカと日本のコミュニケーションスタイルの違いを述べた。

最後に、成本氏は、「日本の情報サービス産業が発展するためには」と、今後の方策を考える場面で、「情報産業発展の順序」「情報産業発展のための取り組み」を取り上げた。将来、オンラインビジネスの価値が高まることでソフトウェア技術者の需要が高まり、開発者によるシステムがビジネスを発展させていくことについて言及された他、「世界各地域の成長率」を踏まえつつ、将来のグローバル化についても語り合われた。

(溝尾)